

# 新型コロナウイルス感染症疑い検体における他の呼吸器ウイルス検出状況について

(R2～R4)

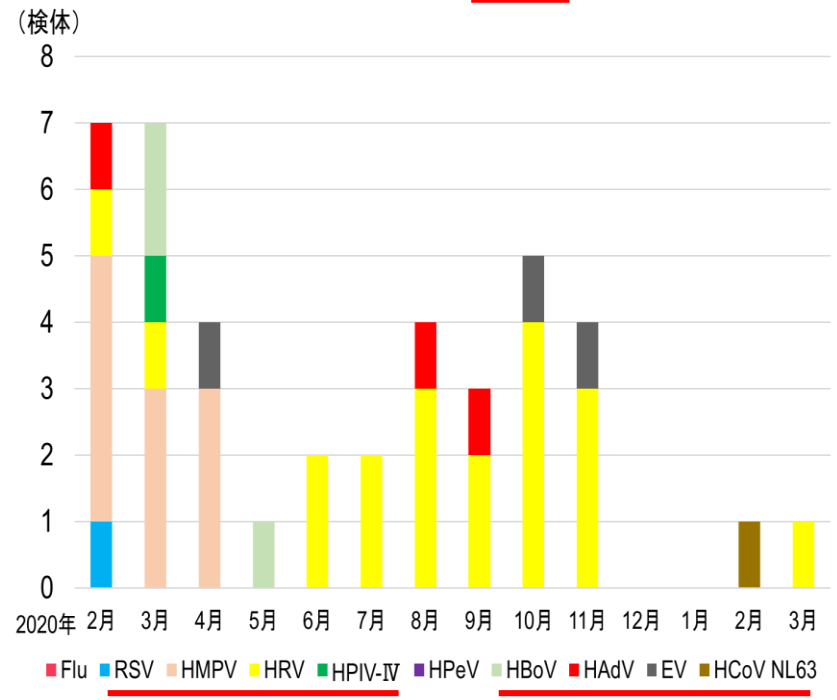
保健衛生部 細菌・ウイルス研究グループ 高橋 美帆

## 研究目的

新型コロナウイルス感染症疑いで搬入された検体のうち、陰性かつ発熱や呼吸器疾患様症状のある患者検体の原因を特定することで、県内における呼吸器ウイルスの浸潤状況を正確に把握し、感染症に対する注意喚起や治療に対して役立て公衆衛生の向上につなげる。

## 研究成果

供試検体353検体のうち、41検体から対象18種類中8種類のウイルスが陽性

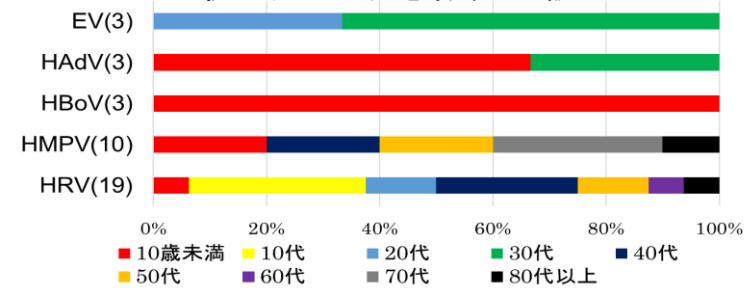


## 呼吸器感染症ウイルスの年代別検出率

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
対象数(例)	21	32	48	54	38	39	43	34	44	353
検出数(例)	9	6	4	6	6	4	1	3	2	41
検出率(%)	42.9	18.8	8.3	11.1	15.8	10.3	2.3	8.8	4.5	11.6

✓ 10歳未満の小児や10代において検出率が高く、60代以上の高齢層で低い

## 検出ウイルス別患者年代内訳



- ✓ HRVは10歳未満から80代まで幅広い年齢層で検出
- ✓ HMPVは10歳未満の小児と40-50代、70-80代の比較的高い年齢層で検出、また10例のうち4例では肺炎症状を引き起こしていた
- ✓ HBoVは10歳未満でのみ検出され、HAdVとEVは30代以下の若年層に多い傾向がみられた

## 今後の予定

- ・ 2022年3月までに搬入された検体について、引き続き本法を用いて検査を行い、混合感染例は確認検査を行う
- ・ 患者の年齢、症状、検体採取時期等を含めた疫学的解析を実施し、学会等で発表を行う予定